

# IELU(25ppm)は、COVID-19の原因ウイルスである 新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) を速やかに失活化、 COVID-19に対する高い有効性が確認されました

- IELUは25ppmの低濃度にて、新型コロナウイルスに対し $10^6$ オーダー以上(99.9999%以上)の抗ウイルス効果が確認されました。
  - ▶  $3.6 \times 10^8$  PFU/mlの濃度のウイルス懸濁液が、 $10^2$ オーダー未満 (検出限界) まで失活化することを確認。

20KB070252-1(1/4)

### 試験結果報告書

依頼者名 株式会社ワンテンス 殿  
品名 液剤 1点  
試験項目 抗ウイルス性試験  
2020年9月9日提出の試料に対する試験結果は下記の通りです。  
2020年12月8日  
一般財団法人 日本繊維製品品質技術センター  
神戸試験センター

言 己

○試験概要

- ・試験ウイルス：Severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 (SARS-CoV-2) NIID 分離株; JPN/TY/WK-521 (国立感染症研究所より分与)
- ・宿主細胞：VeroE6/TMPRSS2 JCRB1819
- ・細胞培養液：Dulbecco's modified Eagle's medium (low-glucose) ; DMEM (SIGMA, Cat#D6046)  
Minimum Essential Medium Eagle ; EMEM (SIGMA, Cat#M4655)
- ・ウシ胎児血清：Fetal Bovine Serum (FBS) (SIGMA, Cat#173012)
- ・対照サンプル (Negative control) : Phosphate buffered saline (PBS)
- ・試験サンプル：液剤(ワンテンスの高機能電解酸化水 IELU(pH6.5 有効塩素濃度 25ppm))

・試験条件：  
ウイルス懸濁液：試験サンプル= 1 : 10  
作用温度 25℃  
作用時間 1分  
(対照サンプル：Negative controlのみ混合直後も測定)  
・薬剤不活化剤：SCDLPを2% FBS 含 DMEMで10倍希釈した溶液  
・感染価測定法：ブラーク測定法

20KB070252-1(3/4)

し、試験液 1ml 当たりのウイルス感染価を算出する。

○試験結果

2) 宿主細胞検証試験

- ・試験ウイルス：SARS-CoV-2 NIID 分離株; JPN/TY/WK-521 (国立感染症研究所より分与)
- ・試験ウイルス懸濁液濃度： $5.1 \times 10^8$  PFU/ml

検体	2) - 1	2) - 2
	細胞毒性の有無	ウイルスへの細胞の感受性確認 ウイルス感染価 (PFU/ml) 常用対数平均値
PBS (Negative control)	無	2.72
株式会社ワンテンスの高機能電解水(IELU)	無	2.71

\* 試験液を薬剤不活化剤で10倍希釈することにより、検体の影響を受けずにウイルス感染価測定ができることを確認した。

3) 本試験

- ・試験ウイルス：SARS-CoV-2 NIID 分離株; JPN/TY/WK-521 (国立感染症研究所より分与)
- ・試験ウイルス懸濁液濃度： $1.2 \times 10^8$  PFU/ml

検体	試験液 1ml 当たりの ウイルス感染価 (PFU/ml) の常用対数値		Negative control との常用対数値差
	常用対数値	常用対数値平均値	
PBS (Negative control)	混合直後	n1 6.81	6.82
		n2 6.81	
		n3 6.85	
	1分作用後	n1 6.82	
		n2 6.80	
		n3 6.81	
株式会社ワンテンス の高機能電解水 (IELU)	n1 < 2.00	< 2.00	
	n2 < 2.00		
	n3 < 2.00		

IELUは25ppmの濃度にて、速やかに $10^6$ オーダー以上(検出限界)の抗ウイルス効果を確認

検査機関：一般財団法人 日本繊維製品品質技術センター (QTEC)